



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,349	1.4	508	32.2	615	34.6	352	29.8
25年3月期第2四半期	8,235	△4.1	384	△31.8	457	△27.8	271	△26.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 712百万円 (693.5%) 25年3月期第2四半期 89百万円 (△74.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.16	—
25年3月期第2四半期	3.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20,815	—	15,924	—	76.5	233.03	—
25年3月期	20,562	—	15,348	—	74.6	224.60	—

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 15,924百万円 25年3月期 15,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
26年3月期	—	1.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	1.1	850	17.0	1,000	19.7	550	9.2	8.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	69,774,401 株	25年3月期	69,774,401 株
26年3月期2Q	1,438,358 株	25年3月期	1,438,358 株
26年3月期2Q	68,336,043 株	25年3月期2Q	68,961,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府・日本銀行の政策連携を背景とした景気回復に向けた兆しが見え始めたものの、雇用情勢や所得環境は改善には至らないまま、電気料金の値上げや原材料価格の上昇などにより、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

個人消費におきましては、記録的な猛暑による季節商品のほか、時計などの高額品の売上也堅調であった反面、ガソリン価格や電気料金の上昇等により節約志向は依然として続き、消費の先行きにも不透明感が残る状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、販路の拡大や損益管理の徹底等による売上並びに利益の確保に努めてまいりました。

ブルドックソースにおいては、昨年8月に新発売した、かけるだけでなく、炒めて、煮て、焼いて、調理して美味しい画期的万能調味料「ブルドックうまソース300ml」の市場定着化を推進するため、メニューレシピの開発とともに用途訴求に主眼を置いた販売促進活動を展開してまいりました。また、ソースの機能性や汎用性を訴求するため、キャップシールをソースの素材を前面に打ち出したデザインに変更するなど主力商品であるウスター・中濃・とんかつソースの拡売に注力してまいりました。本年8月には、「なみえ焼きそばソースチューブ330g」を全国で新発売し、既にご当地焼きそばソースシリーズとしてご好評をいただいている「横手やきそばソースチューブ310g」と「オホーツク北見塩やきそばソースチューブ300g」もこれを機に地域限定発売から全国発売に切り替えました。

業務用商品については、6月には照りやつやの持続性が高く、お惣菜やお弁当のフライに使いやすい「ブルドックフライ用トマトタイプ1,150g」を発売し、8月には家庭用調味料として大変好評の「ブルドック うまソース300ml」と同様に、炒める、煮る、焼くなど様々なメニューへの応用性が高い「ブルドック 万能うまソース調理用1,150g」発売し、業務用ユーザー様の多様なメニュー展開を強力にサポートできる商品群を拡大してまいりました。

イカリソースにおいては、8月に本場大阪の串かつのどぶづけにご利用いただく「イカリ串かつソース250」、9月には丸大豆醤油ベースのあまから味ですき焼きだけでなく豚の角煮や牛丼などいろいろな料理にこれ1本で味付けができる「イカリすき焼きのたれ245」と豊かなゴマの風味とさっぱりとした味わいの「イカリごましゃぶのたれ220」を新発売し、お客様の多様なニーズに応えられるよう商品カテゴリーを拡充してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、対前年同期比1億1千4百万円増加し、83億4千9百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は5億8百万円（前年同期比32.2%増）、経常利益は6億1千5百万円（前年同期比34.6%増）、四半期純利益は、3億5千2百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円増加し、208億1千5百万円となりました。主なものは、流動資産では、受取手形及び売掛金が2億6千1百万円減少しましたが、固定資産において、投資有価証券が6億2千6百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億2千2百万円減少し、48億9千1百万円となりました。主なものは、流動負債では、支払手形及び買掛金が1億8百万円減少し、固定負債においては、長期借入金が2億7千万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億7千6百万円増加し、159億2千4百万円となりました。主なものは、利益剰余金2億1千6百万円の増加及びその他有価証券評価差額金が3億5千9百万円増加したことなどによるものです。これにより自己資本比率は、76.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2千7百万円増加し、32億4千6百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億5千9百万円の収入（前年同期は、4億2千5百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益5億8千2百万円及び減価償却費2億2千1百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億8千万円の支出（前年同期は、1億9千1百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2億5千万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億5千1百万円の支出（前年同期は、4億3千9百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出3億1千万円及び配当金の支払額1億3千5百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年10月25日に公表いたしました「平成26年3月期第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,228	3,256
受取手形及び売掛金	4,371	4,109
商品及び製品	398	376
原材料及び貯蔵品	80	78
仕掛品	28	20
繰延税金資産	325	172
その他	56	70
流動資産合計	8,488	8,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,008	1,949
機械装置及び運搬具（純額）	888	819
土地	2,711	2,711
建設仮勘定	—	173
その他（純額）	69	87
有形固定資産合計	5,677	5,741
無形固定資産		
投資その他の資産	53	45
投資有価証券	5,833	6,460
その他	566	542
貸倒引当金	△58	△58
投資その他の資産合計	6,341	6,944
固定資産合計	12,073	12,730
資産合計	20,562	20,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,694	1,585
1年内返済予定の長期借入金	310	270
未払法人税等	89	82
未払費用	955	870
賞与引当金	181	199
その他	138	129
流動負債合計	3,369	3,137
固定負債		
長期借入金	470	200
繰延税金負債	340	518
退職給付引当金	840	831
長期未払金	166	166
その他	26	36
固定負債合計	1,844	1,753
負債合計	5,214	4,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,787	12,003
自己株式	△534	△534
株主資本合計	14,862	15,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485	845
その他の包括利益累計額合計	485	845
純資産合計	15,348	15,924
負債純資産合計	20,562	20,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,235	8,349
売上原価	3,971	4,006
売上総利益	4,264	4,343
販売費及び一般管理費	3,880	3,834
営業利益	384	508
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	75	77
投資有価証券売却益	9	33
その他	2	3
営業外収益合計	87	115
営業外費用		
支払利息	11	7
その他	3	0
営業外費用合計	15	8
経常利益	457	615
特別利益		
投資有価証券売却益	19	2
特別利益合計	19	2
特別損失		
固定資産除却損	2	12
投資有価証券評価損	58	—
たな卸資産廃棄損	—	23
その他	0	—
特別損失合計	61	36
税金等調整前四半期純利益	415	582
法人税、住民税及び事業税	143	229
法人税等合計	143	229
少数株主損益調整前四半期純利益	271	352
少数株主利益	—	—
四半期純利益	271	352

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	271	352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	359
その他の包括利益合計	△181	359
四半期包括利益	89	712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89	712
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	415	582
減価償却費	255	221
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	18
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21	△9
受取利息及び受取配当金	△75	△77
支払利息	11	7
固定資産除売却損益(△は益)	2	12
投資有価証券売却損益(△は益)	△28	△36
投資有価証券評価損益(△は益)	58	—
売上債権の増減額(△は増加)	△73	261
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34	32
仕入債務の増減額(△は減少)	△70	△108
未払費用の増減額(△は減少)	△0	△75
その他	△83	△45
小計	391	784
利息及び配当金の受取額	75	77
利息の支払額	△25	△17
法人税等の支払額	△27	△84
法人税等の還付額	10	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	425	759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	15	—
有形固定資産の取得による支出	△287	△250
投資有価証券の取得による支出	△11	△362
投資有価証券の売却等による収入	109	310
その他	△16	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△310	△310
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△127	△135
その他	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439	△451
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△205	27
現金及び現金同等物の期首残高	2,633	3,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,428	3,246

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。